

## ● 東海支部

前回、岐阜県で東海支部総会を開催したのは、コロナウイルスなど思いもよらない2019年のこと。コロナ禍となり翌年の活動は中止、一昨年から支部総会が再開され、今年度は5年振りに岐阜県での開催となりました。

会場は「岐阜グランドホテル」の最上階、ガラス張りのローズルーム。金華山の山頂にそびえる岐阜城を臨み、眼下には清流長良川の絶景を眺めながらの和やかな会となりました。

青山学院大学コミュニケーション人間科学部准教授後藤千織先生、同西山利佳先生、山川仁美同窓会副会長にお越しいただき、西山先生には「子どもの本deジェンダーを考える」と題し、ご講演いただきました。



読み聞かせボランティアの会の副代表を務め、男女共同参画市民推進委員としても活動している私にとって、大変興味深いテーマでした。事前にいただいた資料に載っていた絵本を皆さんに実際に見ていただこうと、図書館で借りて会場へ展示しました。読み聞かせの活動をする中で、ジェンダーバイアスを感じる絵本が多く本選びに苦労することがありますが、そうではない絵本を多数ご紹介いただいたので、子

ども達に読んでみたいと思います。

他にも伺いたいことがありました。が進行に追われ、先生とゆつくりお話しできずに残念でした。

今回の総会には、千

葉県、神奈川県、そして福岡県からも参加くださり、皆さんには1300年の伝統を受け継ぐ長良川の鵜飼いを堪能いただくことができました。次回は鵜飼舟を一艘借りるのも良いな、などと考えています。全国の皆さま、ぜひ岐阜へお越しくださいませ。

7月には、青山学院校友会岐阜県支部30周年記念演奏会も控えていました。高等部出身の辻宏氏が製作されたサラマンカホルルのパイプオルガンを、高等部出身のオルガニスト椎名雄一郎氏が演奏されました。

総会の2日前に母が緊急入院したりと大変なこともありましたが、皆さまに良い会だったと言っていたいただき、ホッといたしました。来年の浜松市での開催を楽しみにしております。



61J 大澤智恵子(齋藤)

## ● 関西支部

6月1日、前日の青葉雨は何処かに去り、この日は朝から新緑が映える一日となりました。今年度、青山学院女子短期大学同窓会設立50周年を迎える中、第44回となる関西支部総会は、JR大阪駅前の「ホテル阪急レスパイヤ大阪」で開催されました。

青山学院大学コミュニケーション人間科学部准教授小林瑞乃先生、同輪島達郎先生、校友会から木下英司関西支部長、渡里尚人京都支部長、安西彰子同窓会副会長、中嶋泉運営委員をお迎えし、総勢27名の和やかな集いとなりました。開会挨拶の後、礼拝、讃美歌、聖書朗読、祈祷があり、ご来賓のご挨拶をいただいた後、関西支部の活動報告等と続き、会食となりました。

テーブルは5テーブル、イタリアン料理をいただきながらの歓談では、初めてお目にかかる方々も多かったと思いますが、青短で過ごした2年間の出来事やシオン寮や下宿、東京の親元からの通学の思い出などの話に花が咲きました。シオン寮卒生も多く出席されており猿楽町やその前の金王町の寮だった方もいらつしやり、シオン寮卒生の私は何とも懐かしく嬉しい思いがいたしました。年代を超えた雰囲気の中で語り合うことができたのは、2年間という短い期間ではあるものの青短への誇りと思いを共有できたからかもしれません。

青春の柔らかな感性が、今また身近に感じられるひとときでした。

輪島先生による「琉球古典芸能の世界」と題して琉球古典芸能と薩摩島津家の関係についての講演があり、後半では、人間国宝宮城幸子先生の琉球舞踊のビデオと共に輪島先生の歌謡と演奏を聴かせていただきました。先生のしっとり深くこめられた歌声と演奏が静かに胸に響き心にしみる時間でした。私は今回初めての参加でしたが、個人的にも今年は卒業後50年。感慨深い思いで出席させていただきました。最後になりましたが、これからの同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

皆さま、ありがとうございました。

49J 辻本 信子(山田)

